



## 平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年7月22日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社  
 (URL http://www.zeria.co.jp/)

(コード番号：4559 東証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 伊部 幸顕  
 責任者役職・氏名 取締役広報部長 森山 茂

(TEL:(03)-3661-1039)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容)減価償却の方法、法人税等の計上基準等  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日~平成17年6月30日)

## (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	13,599	7.2	305	-	311	-	392	-
17年3月期第1四半期	12,681	-	-	-	-	-	-	-
(参考)17年3月期	56,209	3.4	2,422	18.3	1,999	16.8	1,385	10.9

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	9.22	-
17年3月期第1四半期	-	-
(参考)17年3月期	31.77	-

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

2. 売上高以外の項目につきましては、前第3四半期より開示を行っているため、前年第1四半期実績及び対前年第1四半期増減率は記載しておりません。

## [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期までの我国経済は、設備投資の増加等による企業収益の改善により堅調に推移し、また個人消費につきましても穏やかな回復が見られます。しかしながら、医療費抑制に向けた医療制度改革の流れの中で、医薬品業界を取り巻く環境は前期に引き続き厳しさを増してきております。

このような情勢の中で、医療用医薬品部門におきましては、最重点領域である消化器官用薬に営業活動を一層注力した結果、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」は堅調に推移し、H<sub>2</sub>受容体拮抗剤「アシノンJ」、胃炎・胃潰瘍治療剤「マーズレンS顆粒・ES錠」もそれぞれ増加傾向へと推移いたしました。

一方、コンシューマーヘルスケア部門においては、高齢化社会が進展する中、ゼリアフランチャイズストア連盟加盟店や薬系量販店を中心に、セルフプリベンション(予防)を指向した製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。なかでも主力製品群である「コンドロイチン群」の売上高は9億78百万円(対前年同期比25.3%増)と大幅に伸長し、トップブランドとしての地位を堅持いたしました。また、健康補助食品等の展開も積極的に行っており、順調な推移を示しております。

以上のような活動の結果、当第1四半期の売上高は135億99百万円、経常利益は3億11百万円となり、また期中に退職給付信託設定益4億83百万円を特別利益に計上しましたので、四半期純利益は3億92百万円となりました。

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨表示)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	54,120	27,866	51.5	649.71
17年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	55,162	27,715	50.2	652.45

(百万円未満切捨表示)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	777	452	778	2,331
17年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)17年3月期	3,468	8,109	5,303	2,790

## [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前連結会計年度末と比較して、10億42百万円減少しましたが、株主資本は1億51百万円増加、株主資本比率は1.3%増加いたしました。

増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が4億59百万円減少し、受取手形及び売掛金が4億92百万円減少しております。固定資産では投資有価証券を退職給付信託契約に拠出したこと等により8億67百万円減少しており、前払年金費用の増加等により投資その他の資産のその他が6億99百万円増加しております。

流動負債では支払手形及び買掛金が3億48百万円減少し、短期借入金が8億33百万円減少しております。また、資本の部はその他有価証券評価差額金が3億49百万円減少しましたが、自己株式50万株を第三者割当処分したこと等による減少4億31百万円等により、1億51百万円増加いたしました。

## (キャッシュ・フロー計算書)

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは7億77百万円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が7億30百万円となり、売上債権の減少額4億92百万円、仕入債務の減少額3億48百万円、法人税等の支払額7億15百万円等によるものであります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは4億52百万円の支出となりました。これは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出4億19百万円、投資有価証券の取得による支出87百万円等によるものであります。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは7億78百万円の支出となりました。これは、短期借入金の純減額7億90百万円及び長期借入金の返済による支出1億27百万円等によるものであります。

## 3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

(百万円未満切捨表示)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	29,000	750	500
通期	58,000	2,100	1,500

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 34円90銭

## [業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成17年5月19日発表の数値を訂正しておりません。

## [添付資料]

## 1. (要約)四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨表示)

科 目	期 別		(参考)前連結会計年度	
	当第1四半期末 (平成17年 6月30日現在)		(平成17年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
( 資 産 の 部 )		%		%
流 動 資 産				
1. 現 金 及 び 預 金	2,463		2,922	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	15,641		16,133	
3. た な 卸 資 産	3,839		3,935	
4. 繰 延 税 金 資 産	901		904	
5. そ の 他	1,594		1,420	
貸 倒 引 当 金	58		56	
流 動 資 産 合 計	24,382	45.1	25,260	45.8
固 定 資 産				
1. 有 形 固 定 資 産				
建 物 及 び 構 築 物	4,966		4,980	
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	771		784	
土 地	9,338		9,338	
そ の 他	288		301	
有 形 固 定 資 産 合 計	15,364	28.4	15,404	27.9
2. 無 形 固 定 資 産	1,242	2.3	1,274	2.3
3. 投 資 そ の 他 の 資 産				
投 資 有 価 証 券	5,758		6,625	
長 期 前 払 費 用	4,644		4,808	
繰 延 税 金 資 産	1,155		915	
そ の 他	1,733		1,033	
貸 倒 引 当 金	160		160	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	13,131	24.2	13,222	24.0
固 定 資 産 合 計	29,737	54.9	29,901	54.2
資 産 合 計	54,120	100.0	55,162	100.0
( 負 債 の 部 )				
流 動 負 債				
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	6,853		7,201	
2. 短 期 借 入 金	9,485		10,319	
3. 賞 与 引 当 金	396		985	
4. 返 品 調 整 引 当 金	228		243	
5. 売 上 割 戻 引 当 金	386		408	
6. そ の 他	4,311		3,582	
流 動 負 債 合 計	21,661	40.0	22,741	41.2
固 定 負 債				
1. 長 期 借 入 金	2,743		2,827	
2. 退 職 給 付 引 当 金	1,557		1,593	
3. 役 員 退 職 慰 労 引 当 金	219		212	
4. そ の 他	72		72	
固 定 負 債 合 計	4,592	8.5	4,706	8.6
負 債 合 計	26,253	48.5	27,447	49.8
( 少 数 株 主 持 分 )	-	-	-	-
( 資 本 の 部 )				
資 本 金	6,593	12.2	6,593	11.9
資 本 剰 余 金	5,414	10.0	5,397	9.8
利 益 剰 余 金	20,770	38.4	20,717	37.5
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	787	1.4	1,137	2.1
自 己 株 式	5,699	10.5	6,130	11.1
資 本 合 計	27,866	51.5	27,715	50.2
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	54,120	100.0	55,162	100.0

2. (要約)四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨表示)

科 目	当第1四半期 (自 平成17年 4月 1日 至 平成17年 6月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
売 上 高	13,599	100.0	56,209	100.0
売 上 原 価	6,611	48.6	26,850	47.8
返品調整引当金戻入額	15	0.1	22	0.1
売 上 総 利 益	7,002	51.5	29,380	52.3
販売費及び一般管理費	6,697	49.2	26,958	48.0
営 業 利 益	305	2.3	2,422	4.3
営 業 外 収 益	79	0.6	141	0.3
1. 受取利息及び配当金	70		93	
2. そ の 他	8		48	
営 業 外 費 用	73	0.6	564	1.0
1. 支 払 利 息	33		112	
2. そ の 他	39		451	
経 常 利 益	311	2.3	1,999	3.6
特 別 利 益	489	3.6	595	1.0
1. 退職給付信託設定益	483		579	
2. 投資有価証券売却益	5		2	
3. そ の 他	-		13	
特 別 損 失	70	0.5	24	0.0
1. 固定資産除却損	7		7	
2. 固定資産評価損	63		4	
3. そ の 他	-		12	
税金等調整前四半期(当期)純利益	730	5.4	2,570	4.6
法 人 税 等	337	2.5	1,185	2.1
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	392	2.9	1,385	2.5

### 3. 四半期連結剰余金計算書

(百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金 額		金 額	
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		5,397		5,397
資本剰余金増加高				
自己株式処分差益	17	17	-	-
資本剰余金四半期末(期末)残高		5,414		5,397
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		20,717		20,040
利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益	392	392	1,385	1,385
利益剰余金減少高				
配当金	339	339	708	708
利益剰余金四半期末(期末)残高		20,770		20,717

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨表示)

科 目	期 別	当第1四半期	(参考)
		(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
		金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		730	2,570
2. 減価償却費		347	1,080
3. 売上債権の減少額		492	942
4. たな卸資産の増減額(増加は)		96	240
5. 仕入債務の増減額(減少は)		348	686
6. その他		137	484
小計		1,455	4,554
7. 法人税等の支払額		715	1,065
8. その他		37	21
営業活動によるキャッシュ・フロー		777	3,468
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 有形固定資産の取得による支出		71	432
2. 無形固定資産の取得による支出		347	867
3. 投資有価証券の取得による支出		87	1,849
4. 投資有価証券の売却による収入		82	13
5. 長期前払費用に係る支出		27	5,003
6. その他		0	28
投資活動によるキャッシュ・フロー		452	8,109
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1. 短期借入金純増減額		790	6,545
2. 長期借入れによる収入		-	2,120
3. 長期借入金の返済による支出		127	167
4. 自己株式の取得による支出		96	2,488
5. 自己株式の処分による収入		544	-
6. 配当金の支払額		308	705
財務活動によるキャッシュ・フロー		778	5,303
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		5	49
<b>現金及び現金同等物の増減額(減少は)</b>		459	612
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>		2,790	2,178
<b>現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>		2,331	2,790

## 5. 四半期連結事業部門別売上高

(百万円未満切捨表示)

事業部門の名称		当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	対前年同期比	前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
医薬品事業	医療用医薬品部門	7,887	7,491	5.3%	33,967
	コンシューマーヘルスケア部門	5,638	5,148	9.5%	22,048
	小計	13,526	12,639	7.0%	56,016
その他の事業		72	41	73.2%	192
合計		13,599	12,681	7.2%	56,209

## 6.新薬パイプラインの状況

. 国内開発状況

2005.07.22現在

### 1)消化器系分野

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序等	備考
申請中	Z-205	自社(導入)	大腸内視鏡前 腸管洗浄剤	腸管洗浄剤	
	Z-103	自社(導入)	胃潰瘍	口腔内崩壊錠	剤型追加
フェーズ	Z-206	自社(導入)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調節製剤	
フェーズ 準備中	Z-206	自社(導入)	クローン病	pH依存型放出調節製剤	
フェーズ	Z-338	自社	機能性胃腸症	上部消化管運動改善作用	
	Z-103/ プロマック顆粒	自社(導入)	味覚障害	亜鉛補充	効能追加
フェーズ 準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニン受容体拮抗作用	

### 2)その他の分野

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序 及び 特長	備考
申請中	ZC-102/ ペオン錠	共同開発 (日本ケミファ)	急性上気道炎	シクロオキシゲナーゼ阻害作用	効能追加
フェーズ 追加試験	Z-100/ アンサー注	自社	子宮頸癌	・免疫調節 ・白血球増加作用 ・好中球機能亢進作用	効能追加

. 海外開発状況

開発段階	開発番号	開発形態	適応症	作用機序 及び 特長	備考
フェーズ (欧州)	Z-338	自社	機能性胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズ (北米)	Z-338	共同開発 (アステラス製薬)	機能性胃腸症	上部消化管運動改善作用	
フェーズ 準備中 (米国)	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニン受容体拮抗作用	
フェーズ b/ a 準備中(英国)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリン受容体拮抗作用	